

平成 29 年度 学校評価報告書 (実施結果)

視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月16日実施)	総合評価 (3月26日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①基礎・基本の確実な定着と学習意欲の向上、進路希望の実現に繋がる生徒主体の授業を実践する。 ②県立高校改革 (I 期) の教育課程研究開発校 (新科目「公共」) として研究開発を行う。	①生徒の主体的な学びを実現する授業研究を推進し、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。 ②新科目「公共」のねらみに適する学習内容と評価規準について検討しまとめる。	①すべての教科・科目で主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、生徒が主体的・協働的な学びの場を設定できたか。 ②シチズンシップ教育等の取組を踏まえ、新科目「公共」の学習内容の整理と評価規準の作成をテーマに研究を推進する。	①すべての授業で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた生徒の主体的・協働的な学びの場を設定できたか。 ②これまで取り組んできたシチズンシップ教育等と新科目「公共」の関係を整理し、学習内容及び評価規準をまとめたか。	①・6月と11月に校内研究授業、8月に外部講師を招いての授業改善研修会を実施した。1回目の校内研究授業は、教科の枠にとらわれず授業を見学して意見交換を行い、自身の授業改善に生かした。8月の研修会は2部構成で、全体会では、大学教授から、「主体的・対話的で深い学び」の理念や授業での取組みなどについて講演していただき共通理解を図った。分科会では、各教科で「問い」をテーマの一つの指導案を材料に話し合いをもった。2回目は、教材研究や授業展開、発問などに改善が見られ、この取組みが受け身になりがちな本校生徒たちの学習態度をより主体的なものに変える効果があると実感できた。 ②・新科目「公共」の概要が明らかになり、「現代社会」等での指導内容やシチズンシップ教育での取組みが、新科目「公共」の指導計画につながる事が確認できた。 ・地区の学習成果・研究成果発表会では、まず代表生徒3人が、教科や「総合的な学習の時間」での学習を通じて、「社会に必要な力」を少しずつ身に付けることができていて、という発表を行った。また、研究開発グループの教員が、新科目「公共」の研究開発の進捗状況について、「社会に必要な力を育成する教育の研究」というテーマで発表した。ともに好評であった。	①・「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業を実践しているが、共通理解のもとに進めること、「活動あって学びなし」に陥らないこと、大学入試改革への対応などに留意して進めてほしい。 ・研修会に外部講師を招いたことはとてもよい。若手教員の育成に努めていただきたい。 ②・読書は学びの基本であるので一層推進する必要がある。 ③シチズンシップの取組みや地域との交流については、学校への理解を深めるためにも保護者向けの発表会なども企画するとよい。	①・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、振り返りの実施や「問い」の工夫など組織的な授業改善を実践することで、生徒の主体的な学びの実現、学習意欲の向上に着手し、評価規準や評価方法等についても研究する。 ・研究成果のまとめを公表し、新科目「公共」の指導計画作成及び実施に寄与する。	
2	生徒指導・ 支援	①安心して学べる学校づくりを推進し、自己肯定感・他者理解・規範意識の伸長を図る。 ②部活動の活性化を図り、協調性や連帯感を共有を図る。	①生活指導とともに、教育相談や不審者対策の充実を図るなど安全・安心な教育環境を確立する。 ②部活動の加入率アップを図り、達成感や連帯感を共有できるように、生徒の主体的な活動を支援する。	①教育相談体制の一層の充実を図り、課題のある生徒への支援を組織的・継続的に行う。 ・不審者対策の徹底を図る。 ②ホームページで活動状況を発信する等加入・定着及び活性化のための取組みを工夫する。	①効果的な生活指導が実践できたか。また、ケース会議等の取組が課題のある生徒への支援に生かされたか。 ②部活動加入率や定着率は向上したか。生徒は達成感や連帯感を共有して活動できたか。	①・服装頭髪指導と遅刻指導を重点に、「説得・納得・理解」を念頭に粘り強く取り組んだ。服装や頭髪、遅刻とも指導後には改善が見られるが、繰り返し指導対象となる生徒も少なくない。 ・通学途中でのマナーや公共心の改善にも、地域の方の協力を得ながら機会ある毎に注意喚起をして取り組んだ。改善されたという声もあるが、時々指摘も受ける。 ・不審者情報にも迅速に対応した。服装や「歩きスマホ」の禁止等自らの身の安全を守る意識の向上を図った。 ・特別指導の対象となる案件は例年より若干増加した。規範意識を高め節度ある安定した生活を送れるよう指導を重ねた。 ②・課題のある生徒への対応も、担任・養護教諭・教育相談コーディネータを中心に丁寧に対応し、スクールカウンセラー等外部の方の協力も得て最大限の支援をした。 ③・入部率は1年57%、2年55%、3年51%、全体55%であった。前年度の全体61%から6%下がり、1学年が-9%と落ち込みが著しい。 ・ホームページでの活動状況の発信等、新入生や中学生に対する部活動紹介や勧誘は生徒会と各部で熱心に取り組んだ。	①・職員全体で共通理解を深めて、生徒への指導・支援の充実を図り、保護者との連携や地域との協力を進め、安全安心な学校生活の充実につなげていく。遅刻防止指導を重点の一つとする。 ・不登校等課題解決に至らない場合が多いので、教育相談体制の一層の充実や、スクールカウンセラー等の活用により、今後も粘り強く生徒を支えていく。 ②・学習活動や部活動、学校行事の一層の活性化により、生徒たちの社会性・協調性を伸ばし、学校生活を充実させるといった点も重視する。 ③・新入生への勧誘方法の工夫などにより、70%以上の加入をめざし、充実した活動で定着を図る必要がある。 ・また、部活動インストラクターの活用等による顧問の長時間勤務への対策や、施設設備の充実による活動の活性化も図っていく。 ・技術指導のできるスタッフの充実を図ることも必要である。	①・不審者対策やマナー向上のために、歩行中の両耳イヤホンや歩きスマホをやめさせるなど命を守る行動ができるよう指導してほしい。 ・外部の方が来校する行事での服装・頭髪なども指導を徹底していただきたい。 ②・防犯カメラの設置など通学路の危険箇所への対応を考え、防災・防犯の取組みを継続していただきたい。 ③・部活動の加入率アップにはぜひ取り組んでいただきたい。その際には、生徒の家庭環境や顧問の負担などに配慮する必要がある。 ・顧問の教員が練習に参加、指導できる時間を一層増やせるよう対策を講じてほしい。	①・教職員の協力のもと、日々の生活指導や特別指導、課題のある生徒への支援の充実を図ることができた。 ・服装・頭髪指導、遅刻防止指導についても粘り強く取り組んでいるが、新たな方法も考えたい。 ②・不審者情報にも迅速に対応したが、対策の見直しが必要である。 ③・部活動紹介や勧誘方法を工夫しているが、部活動への加入率が低下している。新たな対策を講じる必要がある。 ・顧問の長時間勤務や多忙化への対策も喫緊の課題である。
3	進路指導・ 支援	①キャリア教育実践プログラムの充実を図り、生徒のキャリア諸能力を育成する。 ②ガイダンスの充実を図り、生徒の進路希望の実現を支援する。	①自己及び社会に係る課題についての探究的学習を通して、生徒のキャリアに関する基礎的・汎用的能力の育成を図る。 ②ガイダンス等を活用して、早期に目標設定が明確にできるように指導する。 ③目標実現に向けた粘り強い、着実な努力を支援する。	①探究的な学習の場を設定し、生徒に自らの課題として取り組ませることができたか。 ②・進路指導計画に基づいた指導ができたか。 ・模擬試験や各種ガイダンスを進路選択に活用させることができたか。 ・生徒の第一志望の実現を支援できたか。	①すべての教科や総合的な学習の時間において、探究的な学習を積極的に取り入れることにより探究心や思考力の伸長を図るとともに、上級学校等でも必要となる表現力や発信力の土台づくりに努めた。 ②・全学年で「進路のしおり」を配付して、進路決定に向けた取組みのための意識付けを行った。 ・外部講師による講演会や上級学校講座、地域の教育力を活用したインターンシップなどにより、進路選択、職業選択の意識の向上を図ることができた。 ③・実力テスト実施後に、生徒対象の実力テスト結果分析報告会を開催して学習習慣の見直しや一層の動機付けにつなげた。また、教員対象報告会を実施し、教科指導と進路指導の振り返りに生かした。 ④・各学年とも学級担任を中心に面談を繰り返し、学校生活や進路希望の状況を把握して、3年生では第一志望の実現に向けた支援を、1、2年生では第一志望を明確にする支援を行った。	①総合的な学習の時間と各教科の連携を一層強めて教科横断的な取組みを増やすなど、キャリア教育の取組みの充実を図る必要がある。また、将来への展望をなかなか描けない生徒たちも少なからずいるので、その指導が課題である。 ②・インターンシップについては、事後の報告会の開催などにより参加者の増加を図る必要がある。 ③・大学訪問や上級学校出前授業など高大連携による事業等の充実を図るとともに、検討が進んだ「城郷高校生人材バンク」を機能させて、地域の教育力の一層の活用を図り、進路指導を充実させていく必要がある。 ④・実力テストは十分活用できているとは言えない。事前事後の指導等見直しが必要である。 ⑤・保護者への学習や進路に関する情報提供等の改善に努め、保護者の協力も得て進路指導の充実を図る。	①学校行事等で生徒が自主的に活動することは、協調性や社会性を身に付ける機会となる。またインクルーシブ教育の取組みも大事にしてほしい。 ②・インターンシップは教室での授業やアルバイトではできない体験ができるので増やすとよい。 ③・1年から継続して行った進路指導の結果が3年になって意識の変化として現れている。模擬試験やガイダンスなど継続してほしい。 ④・保護者対象進路説明会や個人面談は実施されているが、保護者やPTAの一層の理解と協力を得るための方策が必要である。	①教科横断的な取組みや探究的な学習は着実に増えている。目標を明確にして、学年や教科でさらに有機的な結びつきのあるものをしていく必要がある。 ②・各種ガイダンスや面談等は確実に進路選択・学習の意欲の向上に繋がり、進路状況は数年前に比べ、第一志望実現という点で改善された。 ③・実力テストの活用は十分であるとは言えず、事前事後の指導等見直しが必要がある。	

4	地域等との協働	<p>①広報活動を充実させて本校への理解の深化を図り、信頼される学校づくりを進める。</p> <p>②地域等との連携を一層強め、地域の教育力を生かした取組を推進する。</p>	<p>①ホームページ等を利用して本校の特色や教育活動、地域等の方に分かりやすく発信する。</p> <p>②地域等との交流や連携した事業を通して、生徒の経験値を上げ、公共心や社会性を育成する。</p>	<p>①ホームページの内容の充実と更新頻度の改善を図る。</p> <p>②インターンシップやボランティア活動など、地域等での活動への、生徒の参加機会と参加者数の増加を図る。</p>	<p>①教育活動の成果等をホームページなどでアピールし本校への理解を深めることができたか。</p> <p>②インターンシップやボランティア活動などの機会や参加者数が増えたか。また、生徒にとって有意義な活動であったか。</p>	<p>①教育活動の紹介コーナー「城郷高校の日々」の更新回数が前年度10数回から40回以上と増加した。その他の部分も含めHPを適宜更新し、学校紹介や情報提供を積極的に行った結果、保護者や近隣の方々、中学生のアクセスも多く好評であった。</p> <p>②・インターンシップは参加した生徒は前年度同様20名弱であったが、「学校外活動(就業体験活動)」として単位認定した生徒が前年度8名から17名に増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する味噌製造会社に協力を仰いだ家庭科での味噌づくり体験や、吹奏楽部による地域の施設でのボランティア、生徒による地域清掃など地域との交流や地域貢献活動ができた。 ・2年生対象DIG(防災図上訓練)や、3年生対象の政治参加教育(模擬投票)、生徒会役員の自治会の防災訓練への参加など地域の教育力を生かした取組みがあった。 	<p>①HPを本校の教育活動の紹介、情報発信の重要なツールとして一層の充実を図る。</p> <p>②・教職員・生徒が、地域や近隣施設、小中学校等と各種事業で交流することにより、本校の教育活動を一層充実させたい。情報収集に努め、例年行っていることを見直し、新たなものを加えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃については実施方法等を検討する必要がある。また、挨拶励行など地域の一員としての自覚を高める指導を今後も粘り強く継続する。 ・インターンシップやボランティア活動への参加は社会とのつながりを意識する上でたいへん有効である。参加生徒の増加を図っていく。 	<p>①HPの内容や更新回数は格段に改善された。この業務は担当者に負うところが多いので、担当者の育成を図りながら継続してほしい。</p> <p>②・インターンシップやボランティアなどで地域の施設を積極的に活用してほしい。福祉に関する授業などにも協力する用意がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の防災訓練に生徒が参加した。高校生も防災時には大事な役割を担う。これからは積極的に参加してもらいたい。 ・地域の方々を行事等へもつと招待するとよい。 	<p>①HPの内容や更新回数を改善することができた。担当者の育成を図り継続する。</p> <p>②・生徒や教職員が地域の方々や各種の行事や活動で交流することで、教育活動が活性化するとともに地域からの信頼も得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望や情報を的確に捉える努力とともに、生徒や教職員の参加を一層増やしていく必要がある。 	<p>①複数の担当者を育成して、HPの一層の充実を図る。</p> <p>②新たに導入されるコミュニティ・スクールを踏まえた取組みも考えて、地域の教育力を生かした授業や地域の施設でのボランティア、防災訓練などを継続、発展させる。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①事故・不祥事防止を徹底し、教職員の協働性を高め指導力の一層の充実を図る。</p> <p>②防災体制の確立と防災教育の充実を図る。</p>	<p>①マニュアルや業務推進態勢の改善を図り、成績処理や個人情報管理等における事故を根絶する。</p> <p>②防災対策や防災教育を充実させ、安全安心な学校づくりを推進する。</p>	<p>①・日常的に教職員間で情報を共有し、課題に迅速に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルや点検の在り方を改善し徹底を図る。 <p>②初動態勢の整備と、地域と連携した実践的な防災教育を進める。</p>	<p>①日常的に気づいたことを言葉にできる風通しのよい職場であったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績処理や個人情報管理等でマニュアルに沿った扱いや効果的で効率的な点検ができたか。 <p>②初動態勢の整備ができたか。地域と連携した訓練などより実践的な防災教育ができたか。</p>	<p>①・管理職が窓口となり、教職員、保護者・生徒、地域の方からの情報提供や相談を受け、さまざまな課題に迅速に対応することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜や成績処理、調査書作成等に関する校内のマニュアル等を見直しで改善した。さらに、事前のシミュレーションや点検作業などを全職員で一斉に行うなど事故防止に努めた。 ・不祥事ゼロプログラムの実施や事故防止会議の開催等で事故・不祥事防止に向けた意識啓発・注意喚起を日常的に行った。 <p>②・「学校防災活動マニュアル」を改訂し、全職員に配付・確認するとともに、災害時の初動体制等を見直した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の全校防災訓練や2年生全員によるDIG(図上防災訓練)などにより、災害時の避難経路・避難場所を確認するとともに、防災意識の向上を図った。 ・全職員及び1学年生徒を対象に救急蘇生法講習会を開催した。 	<p>①・不祥事ゼロプログラムを改善して、各グループからの提案を増やすなど、教職員がより主体的に取り組むようにする必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理や成績処理等での事故防止のために、マニュアル等に基づいた適正な取扱い、業務遂行を一層徹底する必要がある。 ・緊急の課題に迅速かつ適切に対応するために、早い段階での気付き、職員間での情報共有など一層徹底していく必要がある。 <p>②・防災用品の充実を図るとともに、今年度の家庭科での非常食や災害用トイレの利用方法等の学習など、防災への意識付けと日頃からの準備を充実させる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の危険箇所の点検や自転車事故の原因分析などにより登下校時の安全管理の徹底に努めるとともに、防災教育にもつなげていく。 	<p>①・事故・不祥事防止の取組みは浸透してもゼロにはならない。教職員が主体的に取り組む研修会の実施など当事者意識を育てていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との意思疎通も大切である。 ・卒業時に、城郷高校に入学して(させて)よかったという声が多数ある。これからは地元の生徒が沢山入学してくる学校として、学習や部活動などで生徒の成長が図られる安全安心な学校であってほしい。 <p>②防災教育では、最善の判断ができるための必要な知識を身に付けるよう継続してほしい。</p>	<p>①日常的に気付いたことを言葉にできる風通しのよい職場づくりが推進できた。また事故・不祥事を起こさないという、教職員の意識向上も図れた。今後も、個人情報の適正な取扱いや入学者選抜等での事故防止など一層徹底する必要がある。</p> <p>②教職員、生徒の防災・防犯に対する意識は高いが、緊急時の初動対応など迅速・適切に行えるよう万全な備えをする。</p>	<p>①・個人情報の管理や成績処理等での事故防止のために、マニュアル等に基づいた適正な取扱いと業務遂行を一層徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績処理や入学者選抜等では無理のない日程設定なども考える。 <p>②授業等での取組みを定着させて、防災への意識付けと日頃の準備を一層充実させる。</p>